

# 建通新聞

東京

## 日本測量協会 測量・地理空間情報技術奨励賞 パスコ・平田氏らに栄誉

日本測量協会(日測協、清水英範会長)は、2026年度の「測量・地理空間情報技術奨励賞」と「公共測量品質管理優秀賞」の受賞者を決定した。奨励賞には、パスコの平田育士氏とエアロトヨタの寺島大貴氏が選ばれた。23日に東京ドームホテル(東京都文京区)で開催する日測協の定時総会と合わせて、表彰式を開く。

奨励賞は、若手技術者・研究者が発表した、測量・地理空間情報技術に関する論文や技術報告を対象としている。パスコの平田氏は、「土石流ピーク流量推定のための航空レーザ測量データを用いた流下痕跡把握手法の検討」と題した論文が、土石流量推定の妥当性を定量的に示した点などで評価された。エアロトヨタの寺島氏は、「ALBデータを活用した水面モデル作成と水量推定による瀬淵判定手法の検討」と、ALBの水面点群データを活用した水量推定による瀬淵判定手法の改良」の、二つの論文が評価された。航空レーザによる新たなデータ活用方法を提示しており、データの有効利用が期待されることなどが受賞につながった。

優秀賞は、測量成果品の品質を評価・判定する「公共測量成果の検定」で、特に優れていた企業を表彰するもの。26年度は、36社(基準点26社、地図10社)が受賞。23日の表彰式では、測量技術センターと関東支部技術センターで検定した8社も表彰する。

パスコの平田氏は、「土石流ピーク流量推定のための航空レーザ測量データを用いた流下痕跡把握手法の検討」と題した論文が、土石流量推定の妥当性を定量的に示した点などで評価された。エアロトヨタの寺島氏は、「ALBデータを活用した水面モデル作成と水量推定による瀬淵判定手法の検討」と、ALBの水面点群データを活用した水量推定による瀬